

◇ 令和3年度指定管理者事業評価書

施設名	笠縫東まちづくりセンター		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	まちづくり協働部	まちづくり協働課	初年度	17,817,800円	/	14,027,597円	収入は、事業実施に係る制限もあり目標に達しなかったが、施設維持管理経費以外の部分で節減に努め、総合的には堅実な運営が進められた。	住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。
施設HPアドレス	www.machikyou.jp/kasanuihigashi		2年目	17,880,816円		16,285,063円	学びに関する取組みは、計画に対し中止せざるを得ない状況が続き、ほぼ前年並みの収入となった。極端な暑さ・寒さの時期が長く光熱水費等の支出が目立ち、前年度を少し上回る額だが、総合的には堅実な運営が進められた。	住民が住み続けたいと願うまちづくりの諸事業を展開し、豊かで住みよい地域づくりを推進する。
指定管理者名	笠縫東学区まちづくり協議会		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5年目					

●総合評価の基準	
5	☆☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆ 評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	非公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成29年4月1日
施設の供用開始日	平成29年4月1日
指定管理導入前の運営形態	供用開始と同時に指定管理者制度を導入

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価… ☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価… ☆☆☆☆
<p>3年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</p> <p>昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、住民の安全を再優先とした各事業の計画および実施に努める。</p>	<p>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、適切な対策を行って安心・安全な施設環境の維持に努められた。施設の建替計画もあることから、施設を活用した地域住民主体の多様な取り組みなど、コミュニティの更なる醸成に期待したい。</p>
<p>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に細心の注意を払う運営に努めた。総会および臨時総会は書面による議決権行使の方法を、またまち協の諸事業については、住民の安全を再優先とした見地からほとんどの事業を中止せざるを得なかった。経験したことがない臨時休館の時期を利用し、和室の畳の表替えなどができたことは良かった。</p>	<p>公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証</p> <p>(応募状況等(非公募の場合は、非公募理由等)) 地域の活動拠点である地域まちづくりセンターを中心として、地域における関係諸団体と連携し、地域住民とともに地域のまちづくりを包括しているまちづくり協議会が知見と経験を活かし、発展的に管理・運営ができるのは現指定管理者以外にはなく、非公募による選定とした。</p> <p>(利用者数の状況等) 地域住民を対象とした公的な役割が大きく、市場原理に左右されることは望ましくないことから、使用料金制としておりますが、利用者数の増加を目指し、地域の活動拠点等として利用していただけるよう努めていただいた。</p>

◇施設に係る主な指定管理業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくりセンターの運営および維持管理に関すること。 ・草津市立地域まちづくりセンター条例第1条の設置目的を達成するための事業の実施に関すること。 	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

貸館等に関する業務（仕様書P7～8）				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	昨年度に引き続き施設の臨時休館(9月)という事態になり、利用状況は減となった。そのような状況の中、有料の使用については、前年度の平均を上回るという状況にある。R3年度月平均 26.8件 17,292円 (R2年度月平均 22.7件 14,908円)	上半期評価	仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館や貸館業務時短対応等がありながらも、消毒等の感染症対策に努められた結果、利用者が安心して施設を利用できた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	施設利用者数は、昨年より少しではあるが増加した。上半期に比べ更に有料の使用が増加した。利用者アンケートの貸館の利用手続きの満足度や窓口対応等がよい影響を与えているのではないかと推測している。(前年に比べ30%の増。350件/年、231,950円/年)	下半期評価	上半期に引き続き仕様書の基準を遵守し、貸館業務をはじめとする管理運営について適切に実施された。こうしたことから、上半期と比較して利用者の増加につながったと評価したい。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

施設及び備品の維持管理等（仕様書P9～10）				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	24時間の警備を委託するとともに、日頃の衛生環境の保持に加え、感染防止対策のため備品等にはこまめな消毒を心掛けた。駐車場については、第二学校給食センターの建設に係る関係車両の出入りが頻繁で駐車場管理は多少困難。和室の畳が経年劣化により摩耗してきたため表替えをした。	上半期評価	施設および備品の維持管理のため設備機器や清掃に努められた。保安警備業務については、対策マニュアルの作成や職員指導に努められた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	築40年を迎えた当施設は、空調機器等が徐々に故障するという事態に陥っている。何とか大きな故障になる前に食い止められたが、時間の問題と考えている。机や椅子等の備品についても機能が不十分な備品が多くなってきた。当センター利用者の安全を考慮し、不特定多数の方が手を触れるような場所や備品については、特に念入りな消毒等に心掛けた。利用者アンケートでは、駐車場が狭く使いにくいとの意見が出ている。	下半期評価	上半期に引き続き施設および備品の維持管理のため設備機器や清掃に努められた。老朽化した施設であることを考慮され、こまめな設備点検等に努められた。
☆☆☆		☆☆☆		

センター条例第3条に掲げる事業の実施に関する業務（仕様書P10～11）				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	臨時休館となった9月は、駐車場において住民主体の野菜等の「無人販売所」の運営がされた。事業等の実施は、感染対策を十分に講じ、できる範囲で開催した。緊急事態宣言が出され学区民が一堂に会した事業については中止せざるを得ない状況となった。そのような中、何とか毎月1回の情報誌の発行ができた。ホームページには、毎日の野菜等の入荷情報や施設の利用状況を更新するなど、サービスの向上に努めた。	上半期評価	仕様書の基準を遵守して地域ニーズに応じた講座・講演の開催や市政情報の発信に努められた。また、住民主体の無人販売所では、野菜をはじめとした様々な販売を行い、多様な施設活用を展開された。その結果、地域住民のまちづくりへの主体性の醸成や施設のサービス向上が実現された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	まちづくりの拠点としてのセンターの建替えが決定したことに伴い、アンケートを実施し、その集計結果を情報誌やホームページにより学区住民に公表している。また、地域の活性化や住民の生きがいに繋がる事業が引き続き展開できた。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書の基準を遵守して地域ニーズに応じた講座・講演の開催や市政情報の発信に努められた。施設の建替えに向けて、地域でアンケートを実施され、地域住民の意見の集約に努められた。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		

経営管理に関する業務（仕様書P12～13）				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	適正な職員配置(防火管理者含む)に努めた。組織として管理運営を進めるため、主な研修は毎日のOJTを進めてきた。パブリックコメントや市政情報の発信に努めた。	上半期評価	仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修など適切な経営管理に努められた。エアコンとストーブの使い分けを行った結果、経費削減を実現された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆	
	下半期評価	引き続き適正な職員配置(防火管理者含む)に努めた。組織として管理運営を進めるため、主な研修は毎日のOJTを進めてきた。パブリックコメントや市政情報の発信に努めた。通知・連絡用の封筒については、年間を通して再利用するため役員等には返却を基本とした節約に動いている。	下半期評価	上半期に引き続き仕様書に定められた基準を遵守し、職員の配置や研修など適切な経営管理に努められた。OJT研修を実施して、人材育成に努められたことから、スキルやノウハウ等の円滑な継承に期待したい。
☆☆☆☆		☆☆☆☆		